学科 学年	3年 選択	科目 分類	東洋思想史[東洋] History of oriental thoughts	講義 選択	通年 2単位	学習教育目標 A, D	担当	野澤 正信 NOZAWA Masanobu

概要	現代の国際社会を理解する上で不可欠な知識になりつつあるイスラム教、ユダヤ教、キリスト教など西アジアで発生した宗教思想と、日本の伝統文化の形成に大きな役割を果たしたインド、中国の思想、そして自国のことでありながら意外と知られていない日本の思想を扱う。毎回のテーマについて、分担する学生が自ら図書館やネットで調べ、発表する。
科目目標 (到達目標)	今日の国際社会において大きな影響力を誇るイスラム教、ユダヤ教などさまざまな異文化の思想を理解することによって、多角的、多面的なものの見方を養うことをめざす。また、また日本に大きな影響を与えた思想を学ぶことにより、日本の伝統的なものの考え方がどのようなものか自覚を促し、日本の文化への理解を深めることをめざす。
教科書 器材等	プリント教材を配布
評価の基準と方法	定期試験の成績を70％、授業内での課題発表の評価を20％、授業態度などの平常点を10％として評価する。60点以上を合格とする。
関連科目	地理、古典、歴史

授業計画

第1回　東洋思想への招待、文献紹介
第2回　古代ペルシアのゾロアスター教　光と闇の二元論
第3回　ユダヤ教　唯一絶対の神の定めた律法
第4回　キリスト教(1)　イエスの愛の宗教
第5回　キリスト教(2)　パウロの福音主義
第6回　イスラム教　信仰によって結ばれた共同体社会ウンマ
第7回　前期中間試験
第8回　儒教思想　孔子　仁と礼による社会の統
第9回　孟子・荀子　良心への信頼（性善説）・努力の重視
第10回　老荘思想　老子　無為・自然という生き方
第11回　荘子・列子　自由人としての人生・運命にしたがう生き方
第12回　道教　中国の民衆宗教
第13回　法家思想　韓非子　法と術による支配
第14回　墨家思想　墨子　技術力によって平和を守る博愛主義の工人集団
第15回　前期末試験
第16回　古代インドのヴェーダとウパニシャッド（神話と祭式の哲学・神秘主義思想）
第17回　ブッダの時代　(1)自由思想家(シュラマナ)達の思想
第18回　(2)ジャイナ教
第19回　原始仏教　ブッダの生涯と教説――苦行でもなく快楽の道でもない中道による悟り
第20回　仏教の体系化　――三宝、三法印、四諦、八正道、十二縁起
第21回　大乗仏教　大衆の救済をめざす菩薩達の宗教と思想
第22回　後期中間試験
第23回　日本神話の思想
第24回　日本仏教　1　奈良時代までの仏教　護国思想としての仏教
第25回　2　最澄の天台宗　無差別平等を説く法華経中心の教え
第26回　3　空海の真言宗　真言を用いる密教
第27回　4　親鸞の口称念仏　阿弥陀仏への絶対他力の信仰
第28回　5　道元の禅　ひたすら坐る禅の思想
第29回　6　日蓮の法華信仰　お題目による救い
第30回　学年末試験

オフィスアワー	金曜日の午後1時から5時までは、比較的質問に応じられる。
備　考	本授業に関する質問は、次のメールアドレスでも受け付ける　nozawa@numazu-ct.ac.jp